



加斗っ子だより

令和7年度 第4号

R7. 7. 18

文責：松井

シーカヤックで蒼島上陸！

お天気に恵まれ、11日（金）に6年生が蒼島学習を行いました。

6年生は、昨年度CM制作のために「蒼島に行きたい」というプレゼンを経て、シーカヤックで蒼島に上陸していますが、今回、2回目の上陸で初めて蒼島の植生を観察することができました。ナタオレノキやムサシアブミを実際に見ながら、市の職員の方からの説明を真剣に聞いていました。また、県立大学の先生が同行し、蒼島周辺に生息する魚の調査を行いました。器具を使って作業を手伝っている姿は研究者のようです。結果は、後日報告されるということで、今後の学習がどのように展開していくのか、とても楽しみです。帰りは波が高くなりましたが、子どもたちはこれまでの経験を生かし、友達と力を合わせ、無事海岸に到着しました。

シーカヤック練習から当日まで、保護者のみなさま、Kato Buck、地域のみなさま、多くの方々にお世話になりました。美しい加斗の自然に親しみ、蒼島学習が実施できますこと、本当にありがたく思います。

なお、1～5年生は2学期に海、蒼島につながる学習を計画しています。



加斗の宝「蒼島」

いよいよ夏休み

71日の1学期。予定されていた行事も無事終わることができました。保護者のみなさま、地域のみなさまのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

待ちに待った夏休みが始まります。この長い夏休みをどう過ごすのか、お子さんとぜひ話をしてみてください。

学校では、夏休みの過ごし方の重点項目「お手伝い」と「時間の使い方」について子どもたちに話をしました。夏休みはタブレット端末等、家庭での利用が多くなります。一緒に考えていただいた「わが家のスマートルール」をもとに、メディアと上手につきあうことができますよう、ご協力をお願いします。



下記のQRコードから加斗小学校ホームページをご覧ください。



体験学習

1学期も、さまざまな体験学習を行ってきました。

学びの場が変わること、ゲストティーチャーの方に専門的なことを教えていただくことで、子どもたちの目がキラキラ輝き始めます。私たち教職員も、ゲストティーチャーの方々と子どもたちのやりとりや対話から多くの事を学ばせていただいています。

2学期以降も、さまざまな人やものとのつながりを持ち子どもたちがわくわくするような活動を進めていきたいと考えています。



3・4年 理科「アゲハチョウ」

2年 生活科「町たんけん」



5年 総合的な学習「学校林」

終業式で子どもたちに話した内容です。(抜粋)

いよいよ1学期最後の日、終業式を迎えました。

4月、新しい学年になってから、あっという間に1学期の日々が過ぎました。(中略)
個人や、友達と一緒に、または学級や学校全体でがんばったことがたくさんあった1学期だったと思います。



これは、「いのちのおはなし」という絵本です。この本を書いた医者である日野原重明さんは、小学生に授業をして「いのちって、なんでしょう？ 生きているとは、どういうことだと思いますか？」と問いかけてきました。みなさんは、どう答えますか。

日野原さんは、こう伝えます。「いのちは、きみたちの持っている時間だといえますよ。」

そして、「自分の持っている時間をどのように使っていますか」とたずねます。

みなさんも、自分の時間の使い方を考えてみてください。

朝起きて、ご飯を食べて学校へ行く。学習、運動、給食。家に帰って宿題、ゲーム、読書、寝る。何か気づきませんか。一日のほとんどの時間を自分のために使っているのです。時間を大切にすることは、命を大切にすること自分のためだけに時間を使うのではなく、自分以外の人のためにも時間を使うことでもあります。

長い休みに入ると、自由に使える時間が多くなります。その時間をどう過ごしますか。その時間を自分のためだけでなく、家族のため、まわりの人のために使ってみませんか。そして、「やりたいこと」と「やらなければならないこと」のバランスを考えてください。

使える時間がゲームやユーチューブばかりで減っていくのは残念ですね。

長い夏休みにしかできないことにも、ぜひ挑戦してみてください。



けがや事故には十分気をつけて、時間の使い方を考えて、元気に過ごしてください。また、水分をしっかりとって、熱中症にならないようにしましょう。では、病気や事故に気をつけて、元気に、安全に過ごしてください。

9月1日、成長したみなさんに会うことを楽しみにしています。